

# しまだ 議会だより

No.25

6月定例会

2010(平成22)年8月13日発行

発行 島田市議会  
〒427-8501 静岡県島田市中央町1番の1

☎ (0547) 36-7204

FAX (0547) 37-2212

メールアドレス [gikai@city.shimada.shizuoka.jp](mailto:gikai@city.shimada.shizuoka.jp)

ホームページ [http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai/gikai\\_top.jsp](http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai/gikai_top.jsp)

## 目次

P17	P16	P15	P14	P11	P10	P2
市議会報告会	議決結果&意見書	定例会概要	討論	委員長報告	議案質疑	一般質問

### ■すぐやる課の現場作業

すぐやる課の現場職員は島田地区に14人、川根地区3人がおり、緊急の作業にあたっています。道路の補修工事など町内や市民の要望にすぐ応え、年間約2,400件の改修作業を行っています。



位置：東経138度10分34秒  
北緯34度50分11秒  
(市役所)

面積：315.88km<sup>2</sup>

人口：103,147人

世帯数：35,339世帯

(平成22年7月31日現在)



# 一般質問

15人の議員が市政を問う

質問は、一定時間内に一件ずつ行う「一問一答」方式と、複数の質問を一括して行う「包括」方式（質問回数は3回まで）があり、質問する議員が選択します。

**問** 市内の凍霜害による一番茶への影響は、生産量、取扱金額において、前年度比較でどのような状況になっているか。

**答** 初倉地区では、荒茶

## 深刻な凍霜害 利子補給で茶農家支援を

まつもと まつもと  
**松本 敏 議員**  
(一問一答)



3月30日に凍霜害を受けた初倉の茶園  
(4月7日撮影)

**問** 3月30日の凍霜害では、島田市のうちでも特に早場所の初倉地区が県下で最も厳しい被害を受けた。年々茶価が下落している中での被害なので、市内の茶農家に深刻な事態をもたらした。

**答** 市内の凍霜害による一番茶への影響は、生産量、取扱金額において、前年度比較でどのような状況になっているか。

**問** 市内の凍霜害による一番茶への影響は、生産量、取扱金額において、前年度比較でどのような状況になっているか。

**答** 初倉地区では、荒茶

生産量は前年比69%、荒茶販売額では57%と低い状況だ。市の平均では80%だ。

**問** 実態調査では共同茶工場だけでなく、個々の農家の生活実態まで聞くことが必要ではないか。

**答** 茶工場59カ所を調査した。それは、市内全域の被害状況を短時間で知りたかったからだ。農家数が多すぎて、全部の農家までは調査は困難だ。

**問** 島田市としても農協の凍霜害「災害対策支援融資」に対する利子補給をすみやかに行うべきだ。近隣の多くが実施しているがどうか。

**答** 利子補給をするのは簡単なことだ。しかし、二

**問** 農家の要望が多ければ農協に働きかけたい。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

# 富士山静岡空港の活用方法は？



しみずただし  
**清水唯史議員**  
(二問一答)

**問** いかにしてインバウンド（来訪者）を増加させるのか、取り組みを伺う。

**答** 国内就航先には観光キャンペーンの実施、海外就航先にはエージェン（代理店等）およびメディアへのPRや、韓国仁川世界都市祝典や上海万国博覧会への出展など、誘客に向けた情報発信を行っている。

**問** 空港利用者の市内滞留の取り込み方を伺う。

**答** 自然資源を生かした付加価値の高い着地型観光（癒し系のホテルなども含め）の推進と、価値を生じる観光地づくり（ロケ地ツアー、宿泊誘導）を進める。

**問** 市民が利用する際の利便性向上策を伺う。

**答** パスポート取得奨励事業、就航先販路開拓事業、利用促進協議会の地域連携事業および市町村振興協会の市町村振興事業等助成金による利活用の向上に取り組む。

**島田B級グルメの取り組みは？**

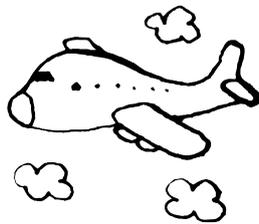
**問** 民間が取り組むB級、C級グルメへの支援策を伺う。

**答** 地場農林産物を利用した商品開発には、島田市農林業活性化推進事業補助金が活用可能である。

**問** 地場産品を利用した食への取り組みについて



開港1周年を迎えた富士山静岡空港



て伺う。

**答** 食育推進計画の取り組みとして、「具だくさん島田汁」を市民、生産者、関係団体と協力し、家庭の朝食への導入推進や学校給食、病院食、市内飲食店への採用を推し進め、B級グルメ化も含めPRしていきたい。

# 食育推進計画と地産地消



そねよしあき  
**曾根嘉明議員**  
(一問一答)

**問** 島田市としての重点施策は何か。

**答** 家族だんらんや規則正しい食生活、栄養バランス、地産地消の推進と食に関するネットワーク体制の充実を図っていく。中でも、特徴的な取り組みとしては、地元野菜がたっぷり入り、栄養バランスに富んだ手作りの「具だくさん島田汁」の普及啓発を推進していく。

**問** 「具だくさん島田汁」とネーミングした根拠は

何か。

**答** 「具だくさん島田汁」は、季節の野菜を入れて盛りつけの最後に、茶どころ島田にふさわしくお茶を一振りし、これが島田汁ということでPRをしていきたい。

**問** 地元農産物の認知度を高める取り組みは何か。

**答** 認知度の低いものについては産業祭、マラソン大会などのイベントでPRをしていく必要があると思っている。農業者グループの方々にも、朝市や直売活動を積極的にやっていただきたいと思



具だくさん島田汁とその食材

っている。

**問** 学校給食の食材費と地産地消に使用されている地場産食材費はどのくらいか。

**答** 食材仕入れ総額は4億3千59万3千円、市内地産地消の額は6千7百17万4千円で地場産割合は重量で38.8%、品目で45.9%となっている。

**問** 地産地消は自給率向上にも結びつくが、静岡県自給率はどうか。

**答** カロリーベースで全国41%に対して、静岡県は17%という低い数値となっている。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

# 教育行政と新成人式



ほしのてつや  
**星野哲也** 議員  
(包括)

**問** 教員用パソコン494台は全教員に配置された。どの様に活用されているか伺う。

**答** 教員は、学級便りや自分の指導計画書などに利用している。また、プロジェクトを接続して大画面で教材の提示をしたり、電子黒板につなげてわかりやすい授業もしている。

**問** 新人教員の研修は、どの様な方法で行われているか伺う。  
**答** 初任者は、年間7日間を費やして社会施設、福祉施設を訪問し幅広く研修を行うほか、各中学校、小学校、幼稚園の交流研修も義務づけている。

## 新成人式は1カ所方式？

**問** 成人式が今までの分散方式(中学校学区)から来年は1カ所方式(島田市市民会館)で行われる。市民の声を聞いたのか伺う。

**答** 各中学校区や、地域の成人式運営スタッフ、

新成人の方からもアンケートを取った。

**問** 1カ所方式に対して意見はなかったか。例えば、参加者が多いと私語が増え、まとまりを欠く、地理的に遠くなることによる出席率の低下、女性の着付けの点、車の駐車場などの問題を伺う。

**答** スタッフには騒がしくなった際の対応マニュアルも準備しておく。女性達にも配慮して式典を午後2時30分から始める。車の駐車場も十分に確保することが出来る。  
※そのほかに救急車の有料化問題。日赤の献血貢献について質問をした。



パソコンを使って仕事をする教職員(初倉小学校)

**問** 3月末の凍霜害の被害は、深刻な状態である。市長の「生産者に実のある支援を」の内容を伺う。  
**答** 県の支援を見定め、二番茶後の販売や生産状況、地域の被害程度等の状況も踏まえた上で、9月ごろまでに支援策をまとめる。

## 凍霜害の支援はいかに

なかだゆうこ  
**仲田裕子** 議員  
(一問一答)



## 新市の市歌、私(市長)が決断

**問** 「市歌制定検討委員会」の答申は、圧倒的多数で、新しい歌詞・曲が望ましいとあった。市長の判断を伺う。

**答** 最終的に、旧島田市歌の曲を継承し歌詞は公募する判断をした。

**問** 検討委員会の会議録によると、「どんなに旧島田市歌が好きでも、新しい市になったのだから曲も歌詞も新しくすべき」との意見が圧倒的多数であり、また一中や金中のアンケートも「8割強が新しい曲・歌詞の新市歌

をとの結果」と記されていたが、市長はご存じか伺う。

**答** アンケート調査の結果は聞いていない。検討委員会の会長が市長室を訪れ「9人か8人の委員が新しい市歌、2人が旧の市歌を、との意見だった。しかし満場一致ではないので、市長に決断を任せる」とのことだったので、私が結論を出した。

**問** 先に行われた議会報告会の席で市民から、「市歌制定委員の一人だが、委員の誰一人として結論がフィフティ・フィフティなので、市長に結論を出してほしいと発言した委員はいなかった」とのことだった。確認だが、委員長が市長に頼んだのか。

**答** 権限が絶大である委員長が市長室を訪れ、最終判断を市長である私に任せた。



一般質問をしている議会の様子

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

# 五和幼稚園の民営化に反対



はらき  
原 木  
しんすけ  
忍 議員  
(二問一答)

**問** 公立幼稚園をゼロにする計画は、保護者の幼稚園選択の幅を狭めること、財政ありきであることなどから、五和幼稚園を民営化することについて反対する。五和幼稚園は今年、創立30周年を迎えた。

保護者からは、「五和幼稚園には創立以来、微動だにしない教育信念が存在する。それが保護者を安心させ、地域をも支えているものである。これから40年、50年と続けていただくことを一保護者として願うばかりです。」



創立30周年の島田市立五和幼稚園

という声がある。そんなに急いでやる必要はないのではないか。  
**答** 急いでいるということではない。二つの幼稚園の民営化、3年間を検証したという実証のもとに進めていく。  
**問** 保護者との意見交換や地域への説明会は、平成22年度中に終了する予定か。  
**答** 伝統のある幼稚園を大きく変えていくということについては、地域や保護者の皆様にいるいろいろな思いがあるということ十分わかる。何回も意見の交換をしながら、あるいは説明もさせていただきながら、その日程の変更は考えていきたい。  
**問** 日程ありきではなくて、慎重にということを要望する。  
※そのほかに、以下の5項目について質問した。  
○ 行政評価システムの構築  
○ 補助金等の整理合理化  
○ 給与制度の適正化  
○ 人材育成基本方針  
○ 新人事考課制度の導入

# 紙が話す音声コードの普及を！



はしもと  
橋 本  
きよし  
清 議員  
(一問一答)

**問** 視覚障がい者のプライバシーの観点から、音声コードを活用し、視覚障がい者自身が情報を確認できるような施策を講ずるべきと考える。活字読上げ装置の設置と音声コードの取り組みはどうか。  
**答** 活字読上げ装置は、来庁者用として福祉課窓口にて1台設置してある。一方、障がい者個人の設置は進んでいない状況で

ある。音声コードと活字読上げ装置は一体的に普及することが望ましいため、音声コードの普及について積極的に進めていく。  
**問** 音声コード作成の職員研修はどのように考えているか。  
**答** 職員対象の研修の場において、音声コードの認識について広めていきたいと考えている。  
**問** 音声コード作成を障がい者の就業支援にしてはどうか。  
**答** 先進地が県の東部にある。検討していきたい。

券の取り組みの成果を伺う。  
**答** 前年度と比較して、子宮頸がん検診では741人、乳がん検診では729人増加した。  
**問** 若い方の受診が低いが、受診率を上げる取り組みはどのようにするか。  
**答** 成人式の会場でチラシを配り、子宮頸がんの検診の重要性、必要性を訴えていきたい。  
**問** 子宮頸がんは唯一、予防できるがんである。予防ワクチンの公費助成を是非、検討してはどうか。  
**答** 予防接種法の検討結果や近隣市の取り組み状況を踏まえ対応したい。



パンフレットの内容を音声で聞かことができます。

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

### 子ども手当の諸課題と地域振興は？



ふじもとよしお  
**藤本善男議員**  
(二問一答)

**問** 6月14日の子ども手当支給対象者はどの程度か。

**答** 全受給者は7398人、児童手当から自動移行された方は6090人である。

**問** 受給対象で、保育料や給食費の未納者に対する今後の市としての対応は。

**答** 直接顔の見える形で、面談を通じ手当てを未納分へ充当することを心掛ける。一方、経済的に厳しい世帯へは、修学援助費の紹介をしたい。

**問** 金券事業の需要予測は的確か。

**答** 各種のアンケート調査では、子ども手当を生活費に使う割合は15%程度なので、金券需要を期待し、子ども手当総額の

### 万全な態勢で家族の時間づくりを！

**問** 2割程度を事業の規模とした。

**問** 金券の管理体制は万全か。

**答** 台帳による管理を行うとともに、毎日の管理も厳重に保管する予定である。

### 万全な態勢で家族の時間づくりを！

**問** 家族と地域の時間づくり推進事業の概要は。

**答** 国の休日分散化の実証事業に呼応して、親子の休暇をマッチさせ、家族で時間を共有し、ゆとりと活力ある社会づくりを目指す。重点実施日は10月8日である。

**問** 小・中学校の準備状況は。

**答** 当初は8校のみ休む



子育て応援プレミアム金券（見本）



くればやし けんじ  
**紅林 貢議員**  
(一問一答)

### 茶業振興を考える

**問** 凍霜害を踏まえ、茶生産農家への助成策をどのように考えているか。

**答** 県がどのような支援をしていくのか見定めたい。併せて一番茶、二番茶の荒茶生産量や販売価格等の生産状況を見極め、九月ころまでに支援策をまとめていきたい。

**問** 再び発生したときの対応について、考えを伺う。

**答** 今回のような気象災害に対して、品質の早晩

組み合わせによる茶期の分散化、他の作目との複合経営や茶共済への加入など、自助努力としての備えが必要ではないかと感じている。その上で行政として対応すべき対策や支援をしていきたい。

とともに、消費者ニーズに応えた信頼性の高いお茶づくりを目指すことが、本市の茶業振興に必要なことではないかと考える。



凍霜害を受けた茶園

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。



金谷図書館

### 図書館運営の充実度？



さかした  
おさむ  
坂下 修議員  
(二問一答)

**問** 各図書館の蔵書数は？  
**答** 平成21年度で島田図書館26万3574冊。金谷図書館8万3231冊。川根図書館2万42

**問** 03冊。蔵書の充足度は高い。  
**答** 新島田図書館の機能は？  
**答** 従来の閲覧、貸出などの基本サービスだけで

なく、ビジネスに関する支援、地域の商店等に関する支援、健康に関する支援といった課題解決支援サービスを目指す。

**問** 傾斜配分で行った金谷図書館書架の空間は？  
**答** 1年に6000冊程度の購入をしている。本年度末には書架は埋まる。

平成22年度の傾斜率は、島田63%、金谷30%、川根7%。

**問** 行政改革大綱では、図書館の指定管理者制度は、導入しない方針とあるが？  
**答** 協議のなかでは指定管理に向かない結論だが、成り行きによっては再び検討をしていくかもしれない。

**問** 図書館への指定管理者制度の導入などについては、教育委員会という機関の権限をもって進めてもらいたいと思うが、いかがか？  
**答** できる限り教育委員会の範囲の中で、考えられる主体性を発揮していきたい。

### 中心市街地の活性化をどうする！



さの よしはる  
佐野義晴 議員  
(一問一答)

中であり、再建に向けての方向性が明確になったところで市として適切な対応を取る。滞納問題の対応については地方税法の守秘義務により答弁はできない。なお、旧パチンコ店跡地は「まちづくり島田」が競売で落札した。

**問** 夜になると当跡地周辺部が暗い。照明灯の設置はできないか。  
**答** 設置に向けて、補助金の利用ができるか確認をする。

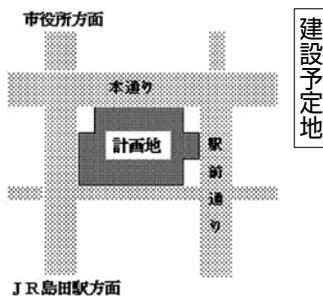
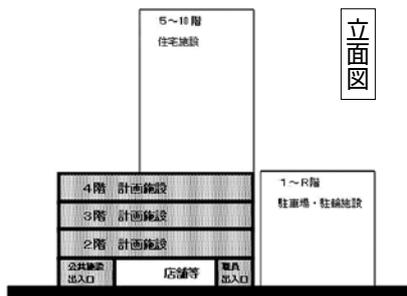
**問** 空き店舗の多い本通六丁目・七丁目の課題と解決に向けての見解を伺う。  
**答** 現在、特に対策は考えていないが、将来的には商業系の街並み形成を目指す。

**問** 現在の計画（来年10月完成予定）に基づき、本年度から2カ年をかけ整備する。1階のテナントの入居が決まるまで建設着工は足踏み。  
**問** 旧ジャスコ店の空き店舗問題解消（ブーファイブ1階の旧パチンコ店も含む）にかかわる現況と今後の動向を伺う。  
**答** 関係地権者間で係争

**問** 新たな街並み形成に当たって、近居（親子が近くに住む）・定期借地権（土地を売らないで貸す）の活用による再生促進はできないか伺う。  
**答** ひとつの取り組み手法として考える。

**問** 市外資本による大型店舗の出店と地元商店街

の連携に対し、地域貢献条例等の制定による共生共栄に向けて、市の考え方を伺う。  
**答** 条例制定は考えていない。大型店に自主努力を期待し、地域貢献の協力を呼びかける。



ビル建設計画イメージ図  
(計画書素案概要より)

いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん いっばんしつもん

# 「生涯学習推進大綱」と

## 地域づくり



おおいせつお  
**大石節雄**議員  
(二問一答)

**問** 平成20年4月に公表された「生涯学習推進大綱」の中間総括として質問する。サブスローガンに掲げている「地域づくり」の地域の活性化の実績はどうか伺う。

**答** NPO団体の育成支援、読み聞かせボランティアの養成、健康づくりボランティアの学習会等を行っている。また、コミュニティ推進協議会の開催、相互の交流社会教育施設の活用促進により事業推進を図っている。

**問** サブスローガンの「環境づくり」について伺う。公共施設(小・中学校)の施設開放状況はどうか。

**答** 市内小・中学校の施設開放は、会議室等は8校、社会体育用照明施設10校、プール7校、屋内運動場は全25校が開放している。

**問** 市内中学校に50mプールがあるが、競技者のためのスポーツ合宿等に活用できないか。

**答** 新しく総合スポーツセンターが出来たので、そういうところで合宿も視野に入れながら、要望があれば、学校等に支障にならない範囲で協議し対応することは、可能ではないかと考えている。

**問** 「金谷宿大学習」また、川根地区生涯学習のそれぞれの特長



合宿研修しまだ寺お屋

はどうか。

**答** 「金谷宿大学習」は、講師、受講生の自主運営、「しまだ楽習」は、市が行っている。今後、川根地区の学習の方向性も含め、市内の生涯学習のあり方を検討したい。

**問** 社会教育施設間の情報交換、各事業の情報交換に、インターネットを利用した情報発信は考えていないか。

**答** 将来的には、そういう形が必要である。順次広めていきたい。

# 子宮頸がんのワクチン接種に、公費助成を

さくらいようこ  
**桜井洋子**議員  
(一問一答)



**問** 子宮頸がん検診の受診状況はどうか。20代に発症が増えているが、その年代の受診率はどうか。

**答** 平成21年度では、対象者のうち4878人が受診し、その率は23.1%だ。20代の受診率は14.7%だ。

**問** 20代の受診率が低い

00人が命を落としている。子宮頸がんは、唯一ワクチン接種で予防できるがん。性行動による感染なので、10代の接種が望ましいが、全額自己負担なので4〜6万円の経費がかかる。公費助成をして接種を進めるべきだがどうか。

**答** 現在、厚生労働省では、子宮頸がんワクチンも含む任意ワクチン全般について、審議会を開き検討中である。この検討結果や近隣市の取り組み状況を踏まえ、対応したい。

**問** 中央公園の子どもの遊具の整備、魅力的な遊具の設置や芝生広場の整備で、子どもや親子が楽しめる場所となるように充実すべきだがどうか。

**答** 総合スポーツセンターができ、相乗効果を図る誘客策として、子ども広場だけでなく中央公園全体の施設環境整備に



大型遊具が大人気の掛川市「21世紀の丘公園」

努めたい。

**問** 金谷庁舎跡地に、子育ての拠点施設である児童センターを設置すべきだがどうか。

**答** 金谷庁舎跡地利用検討委員会を立ち上げ、様々な意見をいただいている。市民アンケート調査の結果も参考に検討していく。

**問** 六合地区の東町に公園設置の要望が、若い世代からも出ている。市としての計画はどうか。

**答** 今後、六合地域の都市計画マスタープランの中で、身近な公園緑地の整備計画を進めていく方向だ。

# 茶凍霜害被災農家の救済策は？



やぎのぶお  
八木伸雄議員  
(二問一答)

**問** 被害農家の具体的支援策を示してほしい。

**答** 9月定例会においてお示しする。

**問** 農家は不安だ。今、相対の財政出動をしないと明言してほしい。

**答** 天災による不慮の被害であり、税金投入も市民の理解が得られると思う。多少の財政出動は行う決意がある。

**問** 具体的には、農協とタイアップしての融資に取組んでほしい。市税である固定資産税の減免も期待するがどうか。

**答** 様々なデータを集めている。固定資産税の減免も検討したい。農協との融資は、行うつもりであるが最善の策は何か、条件も考えている。

**問** 農協には、条件をつ

けてほしい。被害農家は、現在収入が無い。肥料・農薬の1%値引きは全農家が対象だ。被害者に集すべきで救済策になつていない。肥料・農薬代金の支払いは、融資が実行される10月まで決済を延ばすべきだ。

**答** 農家のための支援になるよう交渉する。  
**問** 全小学校区に放課後児童クラブを設置すべきと思うが、現状はどうか。  
**答** 川根小学校区だけではないが、児童館で対応している。  
**問** 児童館では、利用時間に制限がある。働く母親の立場で、午後5時以降の利用時間を検討してほしい。  
**答** アンケートをとり、実施していく。

## 放課後児童クラブの設置状況



茶の被害状況の説明をする県お茶室職員

## 中央児童センターの跡地を児童遊園に

むらた ちづこ 議員  
村田千鶴子議員  
(一問一答)



入れ、大人から幼児まで遊べるようなことを考えている。一方、お金をかけないで親子で楽しめる屋外遊び場として、駐車場も広くバラ園もある中央公園を考えている。

### 駅南口！来訪者へのおもてなし

**問** 駅南地域住民の念願であった南口が開設され1年が経過したが、西側階段の段差がわかりづらく危ないとの声に、今一度安全対策の配慮が必要ではないか。  
**答** 太陽光により段差がわかりにくい状況なので反射材で対応する。今年度、LEDの照明器具をつけるように考えている。

**問** 公共スペースを気持ちよく利用していただく方策の一つとして、花によるおもてなしは有効と考えるが散水設備がない。駅広場に水道の設置を！  
**答** 本年度から

**問** 島田市は、子どもを真ん中にとという視点で、次世代育成支援に取り組んでいる。中央児童センター跡地をただの街区公園ではなく、児童遊園として位置付け、街なかにも子どもたちがいつでも安心して遊べる居場所づくりをどう考えるか。  
**答** 今の中央小公園の外遊び場(400坪)に関しては、ショッピングビルの4階の屋上をガラス張りにして太陽光を取り



島田駅南口木製階段

南北駅前広場にバラ樽の設置を計画している。北口には水栓が一基ある。南口の水栓の設置についても検討したい。  
**問** 西階段広場の利活用についてはどうか。  
**答** 中学校から演奏したいとの希望もあるので、一定の通行を確保した上で考えていきたい。

※このほかに、早期の市民病院精神科再開に向けての現状について質問した。

# 議案に対するQ&A

市長から提出された議案に対し、  
延べ5人の議員が7項目について質疑しました。  
以下、主なものを掲載します。

## 〔議案第51号〕

### H22一般会計補正予算①

#### ☆市歌制定事業について

**問** 制定方法について市歌制定検討委員会の最終提言との整合は。

**答** 委員会のすう勢は、新しい歌を作成するというものであった。また、その一方で少数ではあったが、旧島田市歌を残すとした意見もあったため、旧島田市歌の作曲家高田氏の作品としての価値などを熟慮した結果、曲は旧島田市歌を継承し、歌詞は、合併後の地域の一体感が醸成されるような地域への思いを考慮して、

新たに公募をすることとする。

**問** 補正の内容は。

**答** 編曲者への報償金、歌詞公募用チラシなどの歌詞公募に係る費用、CD盤作成に伴う委託料など。

**問** 歌詞公募方法と策定スケジュールは。

**答** 8月から9月にかけて公募、10月に採用作品決定、12月から1月にかけてレコーディング、3月にCD盤作成を予定。

#### ☆育児サポーター派遣事業について

**問** 事業の内容は。

**答** 平成17年度から始まった事業を拡大するもので、嘱託員を10人採用し、

妊娠中および出産後の、育児等に関する相談や助言、乳児の世話、幼児および10歳ぐらいまでの児童の世話を訪問して行なう。

**問** 嘱託員の資格は。

**答** 保育士、幼稚園教諭などの資格者を歓迎するが、育児経験が豊富な女性であれば雇用対象とする。

**問** 事業目的は。

**答** 子育て家庭への経済的支援および市内商工業の活性化。

#### ☆子育て応援プレミアム金券発行事業について

**問** 事業目的は。

**答** 子育て家庭への経済的支援および市内商工業の活性化。  
**問** 発行枚数36万枚（3

億6千万円分）の根拠は。

**答** 子ども手当支給総額18億円の20%相当とした。

**問** プレミアム金券取り扱い店舗の予定数は。

**答** 意向調査において、現行の金券加盟店618店の多数が賛同されそうである。

#### ☆個別接種事業（日本脳炎予防接種）について

**問** 増額の理由は。

**答** 平成17年5月より日本脳炎の予防接種の積極的勧奨を控えてきたが、平成22年4月の厚生労働省通知により、平成22年度に3歳の子と3歳になる子を対象に積極的な勧奨を行なうこととなったため。

**問** 島田市における日本脳炎予防接種の開始時期は。

**答** 平成22年5月下旬より開始している。

**問** 市民への周知方法は。

**答** 3歳児健診の際に通知を配布、個別通知で知らせる。また、ホームページ

#### ☆田代の郷温泉管理運営経費について

**問** 委託料の内訳は。

**答** 水位低下に伴う川根温泉から田代の郷温泉への余剰泉の運搬および搬出搬入に要する費用であり、平成22年4月から翌

1ジヤや広報しまだに掲載して広く周知していく。

**問** 湯量変化への対応について。

**答** 年3月31日までの1年間で、627回分を予定している。

**問** 中部保健所等の行政指導もあり資源の保護という観点から、水位を十分観察しながら、水位の変化に、その都度対応していきたい。



田代の郷温泉「伊太和里の湯」

# 民生病院教育常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。  
主な審査内容は次のとおりです。

## ☆H22一般会計補正 予算①

### ○育児サポーター派遣事業

**問** 新たに妊婦も派遣対象になったという点で、幅広い専門的知識を持つ

た有資格者が、育児サポーターに必要なだと考えるかどうか。

**答** 育児サポーターは妊娠中の母親の状況により、上の子の世話をすることが基本的目的である。育児の経験があれば十分に

ある。専門的知識が必要な相談を、保健師など専門的機関へつなぐことも重要な仕事である。

**問** 育児サポーターの採用に当たり、適性のチェックや、研修はどのようにするのか。

**答** 採用試験は、面接・作文に基づいて、選考委員会が選考する。資格も大切だが、人柄を重視したい。研修や利用者の声を聞きながら、より良い事業にしていきたい。

### ○子育て応援プレミアム

**問** 子ども手当でこれほど多額の金券が買ってもらえるのか。根拠を伺う。

**答** 支給される18億円の20%、3億6千万円であるが、経済波及効果を期

待した金額である。

**問** 利用者が、5%得するプレミアムだが、その内、お店が3%、市が2%を負担するのは納得いかない。半々にすべきだ。金券取り扱い店舗の理解は得られるのか。

**答** 事業を進めるに当たり、加盟店に意向調査をした。議決後に再度、全店舗に参加していただければか文書で確認する。

### ○感染症予防費

**問** 日本脳炎予防接種は接種回数が多く、接種の期間があいてしまう。保護者への通知はどのようにするのか。

**答** 今回の補正は3歳児が対象である。3歳児健診が済んでいる子には、全ての対象者に通知を送り、これから健診を迎える子には、健診の際に通知を渡す。

5年ほど間隔があいてしまう、4回目の接種は、未接種者に個別に通知を発送したい。

### ○教育研修推進費

**問** 嘱託員の配置場所と

目的を伺う。

**答** 生徒指導のため第二中学校へ配置する。

**問** 配置の基準を伺う。

**答** 授業中に抜け出すなどの問題行動が多いことが配置の基準になる。

**問** 教員免許などの資格を有する人を採用するのか。

**答** 資格がなくても生徒の心の相談員になれる人もいる。教員資格は絶対的条件ではない。

## ☆島田市民健康保険条例の一部を改正する条例

被保険者が倒産や解雇等により離職した場合に、保険税の軽減ができる改正を行うもの。

## ☆静岡県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について

関係市町の合併に伴い、広域連合を組織する団体の数を減少しようとするもの。

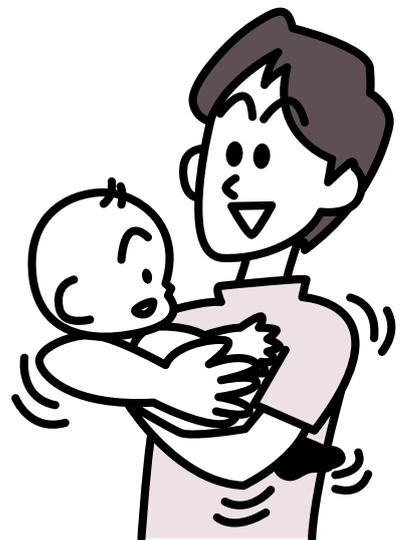
## ☆その他

市立五和幼稚園の民営化について担当課より報告があった。

みどり幼稚園・六合幼稚園の民営化以降の運営は、それぞれ円滑に進んでおり、保護者の評価も高い。五和幼稚園の民営化を是とし、今後実施時期を検討していきたいとの報告があった。



子育て応援プレミアム金券を販売することになった川根支所窓口



# 経済建設文化常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。  
主な審査内容は次のとおりです。

## ☆H22 一般会計補正 予算①

### ○水道費

**問** 国庫補助の財源の組み換えということだが、国の支出金が一般財源に振り替わったということは、国の補助金がカットされたという解釈でいいのか。

**答** 年度当初は、まちづくり交付金事業で限度額いっぱい40%の補助率を設定していた。しかし、社会資本整備総合交付金事業に変更となり補助率も34.3%に変更された。その差額分についての財源の組み換えである。

### ○農業振興費

**問** 新規で行う戸別所得補償制度導入推進事業の

内容は？事業費240万円を何をするのか。

**答** 国では、農業の新たな政策としてこの制度を平成23年度から本格実施する予定。麦や大豆や野菜等の生産拡大を促す水田利活用自給率向上事業と、恒常的に赤字に陥っている米に対して補てんする米の戸別所得補償モデル事業の2つの事業をセットで行う。本年度、モデル対策を行うための現地確認や実績報告等の事務と電算システムを改修するための予算である。

### ○商工振興費706万円

**問** 子育て応援金券発行事業に伴う金券の作成に係る印刷費で36万枚を予定している。1セット1

万円分の金券は9500円で販売される予定であるが、金券負担500円のうち商店街が300円負担することについて、何か異議はなかったのか。

**答** 事前説明では、300円の負担は大変であるとの少数意見もあったがこの事業は子育て応援とともに、商店街の活性化にも着目しているのので、本来は商業者がやるべきことを行政がしたということの評価もいただいている。

### ○田代の郷温泉管理運営費920万円

**問** 掘削業者とのヒット・アンド・ペイ方式の契約や温泉施設の建設に賛成したのだが、まさか出なくなるとは…。

その辺のリスク管理が少し甘かったと感じている。これから、年間920万円、川根温泉から半永久的にピストン輸送しなければ伊太和里の湯が営業できないことを危惧する。今、応急手当てで温泉を運んできて混合湯として運営しているが、今後ともそれでいいのか、その辺はどのような考えか。

がら現時点で考えられるベストの形で進めているので、もう少し時間をかけて対策を煮詰めていきたい。

※伊太和里の湯は、6月22日から、内風呂は田代の郷温泉の源泉、露天風呂は川根温泉の源泉を利用した方法で運用を開始している。

### ○家族と地域の時間 づくり推進事業(10月8日～11日)

市内在住の親子を対象に、お茶の郷施設、川根



川根温泉から源泉を輸送するトラック

温泉施設、ばらの丘公園、ローズアリーナの個人利用施設(プール・トレーニング室・卓球室)を無料開放するための利用料免除に要する経費がそれぞれ上程された。

### ○中国2010上海 国際博覧会出店事業 (3百万円)

静岡県から16市8町が参加。静岡ウイーク中の8月21日に金谷茶娘踊りを披露。

※プロモーションとともに、島田茶を中国の人達が買うという場づくりも、検討するよう意見が出されました。



上海国際博覧会で踊りを披露します

# 総務消防常任委員会

付託された議案の審査を行い、「H22一般会計補正予算①に対する修正案」が提出され、賛成多数により修正案が可決されました。そのほかの議案は、原案のとおりすべて可決すべきものと決定しました。そのほかの主な審査内容は次のとおりです。

## ☆H22一般会計補正予算①

### ○市歌制定事業

**問** 検討委員会の中でも旧島田市歌をそのまま残していくか、まったく新しいものを作っていくかという意見だったと思うが、曲と歌詞を分離してやっていくという方向はなかったはずだが、どこからそのような内容に変わったのか。

**答** 検討委員会の結論では、新しく作成するとの意思表示をされた方が多かったのは事実である。一方で、旧島田市歌を使用するという強い気持ちで意思表示をされた方も少数ではあるがあった。

こうした委員の協議結果とか、高田三郎氏の作られた旧島田市歌の芸術性などを考え、検討委員会の意見を重く受けとめながらも、旧島田市歌の曲を使用するという結論を導き出した。

**問** 各委員には今回の結果報告を一人ひとりに報告しているが反応はどんな声があったか。

**答** 2名の方は大変納得していただいた。1名からは大変厳しいご意見をいただいている。1名の方は特に発言はなかったが、表情から納得いただけないという気持ちを察することができた。その他の委員からは、委員会では反対したがそれも方

法なので協力しますとか、決めたのであればうまく作ってほしいといった旨のことばを頂いた。その他、特に方針内容について強い意見はなかった。

### ○市歌制定事業修正

#### 案 発議者からの提案理由

制定委員会の結論は、すう勢として新しい市歌を制定するという意見が多かったとしており、今回の提案は旧島田市歌の曲を使用し、歌詞だけを変えるということである。本予算は、制定委員会の結論を無視していることから、498万2千円を減額修正するものである。

委員からの意見は、次のとおりです。

### 意見① 検討委員会とい

うのは諮問機関であり、あくまでも市長に対してある課題についての提言をまとめるというもので、それが絶対的なものかといえ、あくまで諮問機関であることから、市長が判断していくための判断材料にするというのが基本だと思う。今回最終的に、委員の意見が一致することがなかったため、両案を併記して市長に出したことは誠実なやり方だと思う。

### 意見② 新しい市になっ

たのだから、曲も歌詞も変えて作りましょうという報告書がまとめられた。すう勢としては新しい市歌を作るといいう方向にあったのが、変わってしまった。民主的なやり方ではないと感じ、補正予算の額を削除してもう一度やり直すべきだと思う。

### ○家族と地域の時間

#### づくり推進事業

**問** SLを利用した地域交流イベントには、どの

くらいの経費を見込んでるか。

**答** 10月8日限定のSLの無料体験のための列車の借上料は67万円を予定、4百名の親子を招待し、区間は金谷駅、新金谷駅のいずれかで乗車し

て、川根の家山駅で下車していただき、チャリム21等でイベントを企画している。帰りについては、フリーパスの乗車券を渡して通常の列車に乗っていただく。



(10/8) 親子でSL乗車体験



(10/8～10/11) ばらの丘公園などの公共施設に親子で入場される方を無料になります

# ザツ討論

## 賛成 ↓ 反対

結果は表のとおり

### 【議案第51号】

#### ○H22一般会計補正予算①および議案第51号H22一般会計補正予算①に対する修正案

#### 議案第51号に賛成

島田市歌制定事業は、合併後の住民の相互の一体感を強固なものとするために重要で、かつ時宜を得たものと認識する。旧島田市歌の曲に、公募した歌詞によって市民の想いを織り込み、一体感が醸成できることは素晴らしい選択であると確信する。家族と地域の時間づくり推進事業は、行政、事業者および学校が緊密な連携を図り、親子での休暇取得が一層推進され、ゆとりと活力ある社会づくりに資する取り組みである。育児サポート派遣事業および子育て

### 採決結果一覧（賛成反対が分かれたもの）

○=賛成、△=棄権 ×=反対、--=欠席			H22一般会計補正予算①修正案	H22一般会計補正予算①原案
◎会派名 新生=新生しまだ 公明=公明党島田市議団 共産=日本共産党島田市議団 清流=清流会 明政=明政会 民主=民主クラブ 維新=維新塾 無=無会派		氏名		
清水	唯史	民主	×	○
八木	伸雄	民主	×	○
藤本	善男	無	×	○
星野	哲也	無	×	○
村田	千鶴子	新生	×	○
杉村	要星	無	○	×
曾根	嘉明	新生	×	○
橋本	清	公明	×	○
大石	節雄	清流	×	○
桜井	洋子	共産	○	×
紅林	貢	維新	×	○
坂下	修	維新	○	×
原木	忍	明政	○	×
仲田	裕子	無	○	×
中野	浩二	新生	×	○
富澤	保宏	公明	×	○
溝下	一夫	清流	×	○
松本	敏	共産	○	×
佐野	義晴	維新	○	×
福田	正男	維新	○	×
河原崎	聖	明政	○	×
小澤	嘉曜	無	×	○

\*議長は採決には加わりません。(議席順。敬称略)

議案第51号に反対、議案第51号の修正案に賛成

議案第51号の修正案に反対

応援プレミアム金券発行事業は、子育て世代への支援に加え、市内商業の活性化が促進される。このほか、現下の雇用情勢に鑑み、追加雇用対策5事業が計上されている。以上、原案は新市の一体感の醸成、市民生活の安定および住民福祉の増進を図る上で必要かつ不可欠な予算措置であり、精査された予算措置であると考え賛成する。

島田市歌制定委員会の「新しい市歌を制定する意見が多かった。」という結論に反している。また、島田市歌の制定については、島田市・金谷町との合併協議のすり合わせの結果、「合併後、新たに市歌を制定する。」「募集方法、公表方法については、制定委

員会を設けて決定していく。」となっている。すなわち、新たに市歌を制定し、制定委員会で決定していくということであり、今回の提案は、このことを無視している。対等合併の約束が守られていない。

島田市歌をそのまま新市の歌とするか、全く新たに作るか、との選択肢の中で、新たな市歌を望んだと理解する。金谷・川根のことを考えれば当然ともいえる。原案はそうした市民感情と、高田三郎氏の作曲家としての高い評価を背景に、比較検討した結果、現在の曲を残し、新たな歌詞を作ろうとするものだ。新市を詠んだ、新しい市歌のもと市民の融合の気持ち醸成してもらいたい。

した3つの旧自治体が力を合わせ、より良い島田市を築こうという意思が表明される市歌だ。それにはまったく新しい島田市歌を作ることだ。行政がすべてを決めるのではなく、市民の意見をなるべく多く聞き、施策に反映し取り入れていくという制度として、各種の「審議会や検討会」「パブリックコメント」の機会がある。ところが今回のように、審議の結論と市長の決定は別というのでは、設置の意味がなくなり、これらが形骸化してしまふ。

議案第51号に反対、議案第51号の修正案に賛成

求められる市歌は、合併

市歌制定委員会では、旧

# 平成22年度補正予算を可決 一般会計4億4,951万円を追加!!

6月定例会は、平成22年6月7日から7月2日までの26日間にわたって開催され、慎重な審議が行われました。今議会では、総務消防常任委員会から一般会計補正予算に対する修正案が提出されましたが、賛成少数で否決されました。主な内容は次のとおりです。

## 正・副議長選挙、 常任委員会等の 委員選任

6月議会初日の6月7日に正・副議長の選挙を行いました。その結果、議長には平松吉祝議員、副議長には溝下一夫議員が選出されました。

また、任期満了に伴う3つの常任委員会、特別委員会および議会運営委員会の委員改選が行われました。

## 工事請負契約の締結

旧川根町役場跡地に建設が予定されている、子育て世代型住宅建設工事に関する入札が行われ、工事請負契約が締結されることが決まりました。

## 専決処分した事件の承認

議会を招集する時間的な余裕が無いなどの理由で市長が専決処分した事件等の報告がありました。地方税法等の一部を改正する法律の施行に合わせた島田市税条例、島田市都市計画条例、島田市国民健康保険税条例の改正など専決処分に関する報告3件が承認されました。

## 平成22年度 一般会計補正予算①

一般会計補正予算では、家族と地域の時間づくり推進事業、6月14日からの子ども手当支給に合わせ、市独自の金券を発行する子育て応援プレミア

## 平成22年度 一般会計補正予算① に対する修正案

一般会計補正予算には島田市歌制定事業として498万2千円も盛り込まれていましたが、市歌制定の方法をめぐり、総務消防常任委員会より、一般会計補正予算のうち、市歌制定に関する予算を削減した修正案が議会最終日に提出されました。

緊急を要する事業としては、地蔵時停車場線災害復旧事業や、国の指針で日本脳炎予防接種が再開されたことによる個別接種事業、田代の郷温泉の源泉低下に対する緊急対応として川根温泉源泉を運搬する事業も盛り込まれました。

また、緊急雇用事業として、育児サポーター派遣事業、生徒指導支援事業、図書館資料の整理などを行う事業等が予定されており、臨時職員等の雇用に必要な経費が盛り込まれました。

## 条例の改正

討論の後、採決が行われ、一般会計補正予算が賛成多数で議決され、修正案は賛成少数で否決されました。

育児介護休業法の改正に伴う市職員の育児休業に関する条例等の改正、雇用保険法の改正に伴う市職員の退職手当に関する条例の改正、過疎地域における固定資産税の特例に関する条例の改正、火災予防条例の改正などが提案されました。

## 人事案件

次の委員の任命に同意いたしました。

(敬称略)

教育委員会委員

北島正

次の委員を推薦することについて適当と認めました。

(敬称略)

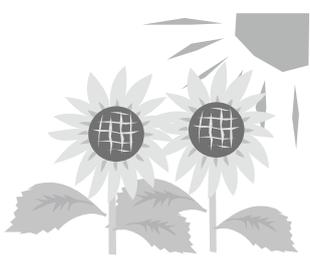
人権擁護委員

鈴木千恵子

## 意見書の採択

議会には2件の意見書が提出され、審議を行いました。

その結果、島田市議会議員6人から提出された「戸別所得補償制度の対象作物に関する意見書」が本会議にて採択され、国の各機関に送付されました。



# 議決結果一覧表

○**全員賛成で承認、可決、同意等**  
専決処分の承認のうち

島田市税条例の一部を改正する条例  
について

島田市都市計画税条例の一部を改正  
する条例について

島田市国民健康保険税条例の一部を  
改正する条例について

島田市職員の勤務時間、休暇等に関す  
る条例の一部を改正する条例について

島田市職員の育児休業等に関する条例  
の一部を改正する条例について

島田市職員の退職手当に関する条例の  
一部を改正する条例について

島田市過疎地域における固定資産税の  
特例に関する条例の一部を改正する条  
例について

島田市火災予防条例の一部を改正する  
条例について

工事請負契約について  
静岡地方税滞納整理機構を組織する地  
方公共団体の数の減少について

静岡県後期高齢者医療広域連合を組織  
する地方公共団体の数の減少について

教育委員会委員の任命について  
人権擁護委員の推薦につき意見を求め  
ることについて

○**賛成多数で可決**

平成22年度島田市一般会計補正予  
算（第1号）

○**賛成少数で否決**

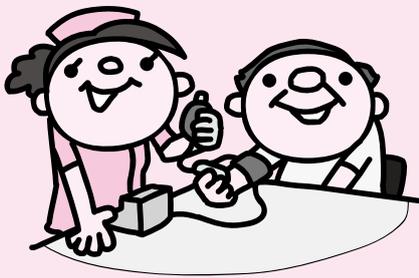
平成22年度島田市一般会計補正予  
算（第1号）に対する修正案

○**その他の報告**

物損事故に係る和解  
一般会計予算の繰越しについて  
（繰越明許費）

公共下水道事業特別会計予算の繰  
越しについて（繰越明許費）

病院事業会計予算の繰越しについ  
て（建設改良費の繰越）



次の意見書を採択し、国会および関係行政庁に提出しました。

## 戸別所得補償制度の対象作物に関する意見書

島田市の農業の基幹作物である「茶」を取り巻く環境は、従事者の減少や高齢化の進展及び価格低迷等により厳しい状況下にある。

国では、農業の再生を目的として「戸別所得補償制度」を平成23年度から実施することとなり、平成22年度はモデル対策事業として、水田作に着目した「米戸別所得補償モデル事業」と「水田利活用自給力向上事業」を全国規模で実施することになった。

この「戸別所得補償制度」を推進する中で、次年度以降の本格的な実施に向けて、米以外の畑作物についても検討を進めることと聞いているが、全国各地において、それぞれ地域特有の基幹作物があるため、地域の現状、現場の意見を参考にして作物選定することが重要であると考える。

よって、国におかれては地域農業の発展のために、下記の事項について実施されるよう強く要望する。

記

- 1 戸別所得補償制度の実施に当たっては、生産現場の課題と意見を反映させる仕組みを確立し、国と生産者等が相互理解を深めることができるように努めること。
- 2 平成23年度以降の本格的な実施に当たり、「茶」を「戸別所得補償制度」の対象作物とすること。

# 市議会報告会の開催報告

**開催日：平成22年5月23日(日)**

**六合会場 参加者 22名** 市議会報告の後、質問・意見交換を行いました。

(質問・意見交換) ●東町御請線の今後の見通しは。 ●メッセについては県の事業だとしても市議会としての判断もすべき。また市の将来のグランドデザインについても議会として案を示すべき(意見)。 ●議会のあり方については会派が細分化されているので大きくまとまる努力をしてほしい。 ●六合地区の問題として幼稚園と保育園の合併について議会に理解と協力を求める。 などの質問・意見が出されました。

**金谷北会場 参加者 16名** 市議会報告の後、質問・意見交換を行いました。

(質問・意見交換) ●エコマイハウス支援事業の予算が無くなったが、今後の補正はどうか。 ●多目的産業展示施設の件は、施設を建てるより福祉などを充実させたほうが良いと思う。 ●FM放送活用事業に対する行政広告料が増加しているがいつまで市が補助するのか。 ●グランドデザインを決めるなら、住民が安心して税金を出しても止むを得ないと思われる計画を立ててほしい。 ●金谷駅のバリアフリー化は怎么样了のか。 ●市歌については合併協定の約束事でもあり、市歌制定委員の多数による結論はどのように捉えているのか。 などの質問・意見が出されました。

**島田会場 参加者 22名** 各常任委員会の報告の後、質問、意見交換を行いました。

(質問・意見交換) ●多目的展示施設の建設は、あえて市がインフラ整備をする必要があるのか。 ●雇用情勢が大変厳しい。雇用や市の活性化、中小企業の経営対策はどのように考えているのか。 ●新島田ショッピングビル建設経過は怎么样了のか。またビル内の施設設置検討は慎重に(意見)。 ●ハコモノ白書の詳細は。 ●議員独自の報告会を積極的に開催して欲しい。 ●具体的な新病院建設の話はあるのか。 ●報告会への議員割り振りはどのように決めたのか。 などの質問・意見が出されました。

**川根会場 参加者 9名** 各常任委員会の報告の後、質問、意見交換を行いました。

(質問・意見交換) ●市民病院救急センター受診料が高い気がするが、どうしてか。 ●林業に対する補助事業は生産者に対しても必要ではないか。 ●FM島田の市外難聴地域へのエリア拡大および受信機配布は怎么样了になっているか。 ●野守の池整備の今後の予定は。 ●山村都市交流センターささまへ、今後も支援を願いたい。 ●大井川の身成側護岸工事については整備後の管理を含め、慎重に整備を進めてほしい。 などの質問・意見が出されました。

**初倉会場 参加者 13名** 3月議会の主な課題を各常任委員が説明し、その後質問、意見交換を行いました。

(質問・意見交換) ●中心市街地施設への合併特例債の活用に対する議員の考え方は。 ●新図書館をなぜ造るのか。 ●市広報誌月2回発行は多すぎないか。 ●常任委員会と特別委員会の違いは。 ●経常収支比率が上がっているが将来負担は大変ではないか。 などの質問・意見が出されました。

**金谷南会場 参加者 12名** 3月議会の主な課題を各常任委員が説明し、その後質問、意見交換を行いました。

(質問・意見交換) ●メッセ計画の進捗、可能性は。 ●幼稚園民営化の認識は。 ●井戸の規制は。 ●金谷庁舎解体後の跡地利用の進捗は。 ●合併特例債は借金ではないか。補助金をもらえるから豪華にするのか。 ●南支所の駐車場が狭い。 などの質問・意見が出されました。

## 特別委員会の途中経過を報告します

### 病院運営に関する特別委員会

当委員会は、市立島田市民病院の病院経営、新病院建設および医師の確保に関する調査・研究を行うことを目的として、昨年7月10日に設置されました。

設置以降、委員会を8回開催し、島田市民病院の現状や課題、新病院建設のあり方、病院に勤務する医師、看護師を取り巻く状況などについて病院長、看護部長、事務担当者の話を伺い、併せて、意見交換を行ってきました。

また、昨年11月には東京で行われた「自治体病院のための地域医療再生フォーラム」に参加し、本年4月には、愛知県豊川市民病院および滋賀県立柏原病院ならびに柏原病院の小児科を守る会の取り組みについて視察を行いました。

島田市民病院においては、全国の自治体病院の例に漏れず、慢性的な医師不足や赤字運営などの課題を抱えていますが、当委員会は、今後も病院経営、新病院建設および医師の確保に関する調査・研究を行い、諸課題に関する有効な提言が示せるよう活動してまいります。

### 空港を活用したまちづくり特別委員会

当委員会は、富士山静岡空港が昨年6月4日に開港したことに伴い、これを地域の発展にいかにつなげていけるか、また、市民生活の向上にいかに関与することができるかを議会として調査・研究することを目的として設置されました。

本年6月までに5回の委員会を開催し、多目的産業展示施設（メッセ）を核とした空港周辺プロジェクト事業や空港隣接地域振興事業の取り組みについて意見交換を行いました。

また、昨年10月には、空港開港後の状況を確認するため富士山静岡空港の視察を行ったほか、本年4月には、旧金谷中学校跡地を始めとした空港周辺プロジェクト関連事業予定地の現地視察を行いました。

今後については、現在静岡県が提唱している「空港ガーデンシティ構想」の動向に注目しつつ、多目的産業展示施設を核とした地域の発展、市民生活の向上のための調査・研究を引き続き行ってまいります。

## 9月定例会の日程（予定）

平成22年第3回（9月）市議会定例会の日程は、次のとおりです。是非、本会議、常任委員会の傍聴にお越しください。いずれも午前10時開会の予定です。

9月2日（木）本会議（議案上程）	9月14日（火）本会議（議案質疑）
9月9日（木）本会議（一般質問）	9月15日（水）常任委員会
9月10日（金）本会議（一般質問）	9月16日（木）常任委員会（予備日）
9月13日（月）本会議（一般質問：予備日）	9月29日（水）本会議（最終日）

なお、この予定は変更されることがあります。

### 編集後記

議会だより臨時号でもお知らせしましたが、6月定例会は、新たな議会構成でスタートいたしました。

今定例会においては、「H22年度一般会計補正予算①」中の市歌制定事業に関して、総務消防常任委員会から修正案が出され、審査されましたが、採決の結果、原案が可決されました。内容については、「議案質疑Q&A」「ザッ討論」等の紙面をご覧ください。

また、議会報告会時のアンケートにおいて回答をいただいた市民のほとんどの皆様が「議会だより」をご覧いただいていたことに感謝申し上げます。今以上に、市民に分かりやすい紙面づくりに努めてまいります。



### 議会だより編集等に関する特別委員会

委員長 大石 節雄  
副委員長 藤本 善男  
委員 清水 唯史  
星野 哲也  
村田千鶴子  
松本 敏

島田市議会事務局 ☎ 36-7204

Eメール

gikai@city.shimada.shizuoka.jp